

**群馬県での豚熱発生に係る  
防疫対策連絡会議  
(持回り開催)**

**開催日：令和3年10月20日（水）**

**出席：知事、副知事、危機管理局、  
生活環境部、農林水産部**

1

**会議内容**

- 1 豚熱の国内発生状況
- 2 群馬県の発生事例の概要
- 3 国の対応状況
- 4 鳥取県の対応状況
  - (1)群馬県の発生事例に対する鳥取県の対応
  - (2)今後の豚熱防疫体制
- 5 お願い

2

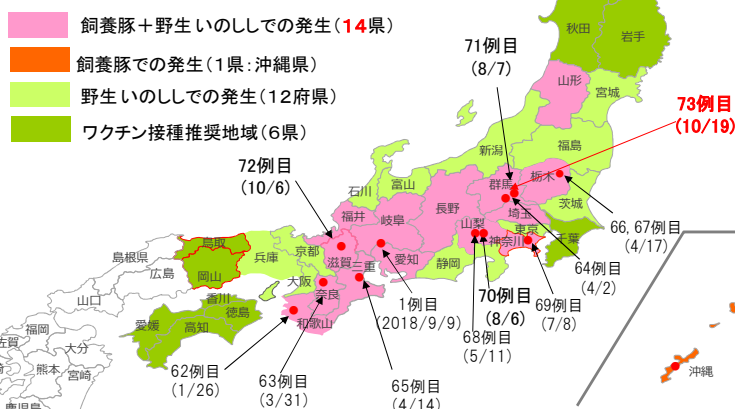
## 豚熱の国内発生状況

- 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和3年1月にかけて岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県及び和歌山県で発生。今年3月以降も、**奈良県、三重県、栃木県(2農場)、神奈川県、山梨県(2例目)、滋賀県のいずれもワクチン接種農場で発生。群馬県は4例目の発生。**
- 野生いのししの感染は25都府県に拡大。  
兵庫県では、令和3年3月16日に丹波市の死亡いのしし2頭で初確認し、**10月13日まで47頭の陽性を確認。**  
(7月31日に淡路島の死亡野生いのししで陽性を確認)

3

## 豚熱が確認された都府県

【国内の豚熱発生状況】令和3年10月19日現在



## 豚熱の国内発生状況(飼養豚)

No.	発生地	畜種	発生日	飼養羽数	防疫措置完了日	その他
1~58	岐阜、愛知、長野、三重、福井、埼玉、山梨、沖縄	豚、いのしし	H30. 9. 9~ R2. 3. 12	138, 527頭		
59	群馬県高崎市	豚	R2. 9. 26	5, 887頭	R2. 10. 9	
60	山形県鶴岡市	豚	R2. 12. 25	1, 250頭	R2. 12. 29	
61	三重県伊賀市	豚	R2. 12. 29	7, 026頭	R3. 1. 7	
62	和歌山県かつらぎ町	豚	R3. 1. 26	267頭	R3. 1. 29	
63	奈良県奈良市	豚	R3. 3. 31	1, 089頭	R3. 4. 3	
64	群馬県前橋市	豚	R3. 4. 2	9, 970頭	R3. 4. 16	(関連1農場含)
65	三重県津市	豚	R3. 4. 14	約10, 000頭	R3. 4. 23	
66	栃木県那須塩原市	豚	R3. 4. 17	17, 266頭	R3. 5. 17	
67	栃木県那須塩原市	豚	R3. 4. 17	22, 096頭	R3. 5. 17	
68	山梨県中央市	豚	R3. 5. 11	2, 523頭	R3. 5. 18	
69	神奈川県相模原市	豚	R3. 7. 8	4, 328頭	R3. 7. 21	(関連1農場含)
70	山梨県道志村	豚	R3. 8. 6	1, 700頭	R3. 8. 11	
71	群馬県桐生市	豚	R3. 8. 7	5, 000頭	R3. 8. 26	
72	滋賀県近江八幡市	豚	R3. 10. 6	1, 400頭	R3. 10. 10	
73	群馬県前橋市	豚	R3. 10. 19	3, 900頭		(関連1農場含)

## 豚熱の国内発生状況(野生いのしし)

野生いのししでの検出状況(令和3年10月13日現在  
農水省調べ) →陽性例は25都府県で確認

県名	陽性確認頭数	検査頭数	県名	陽性確認頭数	検査頭数
宮城県	31頭	302頭	山梨県	79頭	442頭
山形県	20頭	299頭	長野県	269頭	1, 692頭
福島県	29頭	360頭	岐阜県	1, 218頭	6, 597頭
茨城県	106頭	1, 699頭	静岡県	320頭	5, 116頭
栃木県	53頭	932頭	愛知県	139頭	2, 982頭
群馬県	125頭	2, 429頭	三重県	518頭	5, 792頭
埼玉県	118頭	1, 456頭	滋賀県	263頭	1, 495頭
東京都	9頭	166頭	京都府	92頭	464頭
神奈川県	40頭	1, 068頭	大阪府	17頭	35頭
新潟県	42頭	437頭	兵庫県	47頭	514頭
富山県	80頭	808頭	奈良県	39頭	361頭
石川県	53頭	714頭	和歌山県	104頭	558頭
福井県	166頭	1, 515頭	合計	3, 977頭	38, 233頭

## 群馬県の発生事例の概要

- 1 農場の概要（国内73例目）  
 場 所：群馬県前橋市  
 飼養状況：3, 450 頭  
 疫学関連農場1農場（450頭）
- 2 経過  
 10/18 農場から死亡頭数が増加との通報を受け群馬県が立入検査を実施。群馬県の検査により、豚熱の疑いが生じたため、国へ材料を送付し精密検査を実施  
 10/19 動物衛生研究所（注）の遺伝子解析で豚熱感染確認（21時12分）  
 （注）国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門：国内唯一の動物衛生に関する研究機関
- 3 群馬県の対応  
 ・殺処分開始（10月20日開始）  
 ・豚熱ワクチン接種区域のため、移動制限無し

7

## 国の対応状況

- 10月19日(火)
  - ・農林水産省豚熱、アフリカ豚熱対策本部会議の開催
  - ・全都道府県へ情報提供
  - ・飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
  - ・群馬県へ国の疫学調査チーム派遣を決定
- 国の野生いのしし対策
  - ・捕獲強化対策(ワナ増設等)
  - ・農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
  - ・経口ワクチン散布を23都府県で実施

## 群馬県の発生事例に対する鳥取県の対応

- 1 発生情報の周知と注意喚起(市町村、養豚農場、農協等関係機関)(10/19)
- 2 県内養豚農場の状況確認(10/20)
  - ・県内20養豚農場といのしし農場に異常の有無等を電話聞き取り  
→ 異常なし、群馬県の養豚農場との疫学関連無し
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
  - ・侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう指導
- 4 県境付近の野生いのししのモニタリングを強化
  - ・平成30年9月から令和3年10月19日までに県内全域で死亡、捕獲された野生いのしし478頭(うちR3年度は東部75頭、中部49頭、西部33頭の計157頭)について全て豚熱陰性を確認。
- 5 群馬県の防疫作業への協力
  - 家畜防疫員(家保職員)1名派遣(10/25~10/28)

## 今後の豚熱防疫体制(飼養豚)

- 1 飼養豚、いのししへの豚熱ワクチン接種等
  - ・4/5(月)~4/26日(金)に初回一斉接種済(約5万頭)
  - ・繁殖豚等への補強接種及び生まれてくる子豚、導入豚への追加接種を実施中(5/6~9/30までに約3万8千頭接種済)
- 2 ワクチン接種農場の抗体モニタリング(5/17~7/2)
  - 初回検査対象15農場407頭検査を行い、401頭(98.5%)でワクチンによる抗体陽性を確認。
- 3 ワクチン接種体制強化
  - 県職員獣医師だけでなく民間獣医師(知事認定獣医師)による接種開始(8/16~)
- 4 飼養衛生管理基準遵守の指導強化中(4月~)

## 今後の豚熱防疫体制(野生いのしし)

### 1 鳥取県豚熱感染拡大防止対策協議会を設立(7/6)

【構成】県(農林水産部、生活環境部)、県東部の市町、(公社)鳥取県畜産推進機構、猟友会、森林組合連合会、養豚生産者協議会

【活動】野生いのししへの豚熱経口ワクチン散布

### 2 豚熱経口ワクチン導入全国協議会へ加入(7/26)

### 3 経口ワクチン散布スケジュール

8月下旬 散布地点の選定及び地元との調整

9月27日 全国協議会から県協議会へ経口

ワクチン1万個(無償)到着

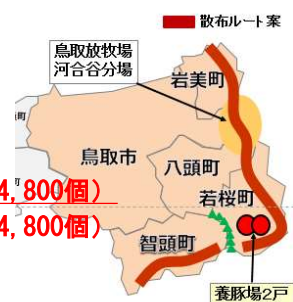
誘引餌散布開始

10月11~17日 第1回経口ワクチン散布終了(4,800個)

11月8~17日 第2回経口ワクチン散布予定(4,800個)

### 4 狩猟者等への衛生対策

狩猟者登録時のチラシ配布や県ホームページでの注意喚起実施



## 豚熱対応窓口

(24時間対応しています。)

#### ■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240 (夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341 ( " )
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140 ( " )

#### ■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286
	090-8061-9109 (休日、夜間)

#### ■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979 (夜間休日 0857-26-7111)
中部総合事務所環境建築局	0858-23-3275 (夜間休日 0858-22-8141)
西部総合事務所環境建築局	0859-31-9320 (夜間休日 0859-34-6211)

#### ■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

## お願い

- 豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることもありません。
- 今回使用する豚熱ワクチンは、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、農林水産大臣に承認され、有効性及び安全性が確認されており、豚熱ワクチンを接種した豚肉を食べても問題はありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡した野生いのししを発見した場合は、県畜産振興局畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。

13